

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
		Q 建築物の環境品質					
Q1 室内環境			0.30		-		3.0
1 音環境		3.0	0.15		-		3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40		-		
1.2 遮音		3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能		3.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能		3.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-		-		
1.3 吸音		3.0	0.20		-		
2 温熱環境		3.0	0.35		-		3.0
2.1 室温制御		3.0	0.50		-		
1 室温		3.0	0.38		-		
2 外皮性能		3.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御		3.0	0.20		-		
2.3 空調方式		3.0	0.30		-		
3 光・視環境		3.3	0.25		-		3.3
3.1 屋光利用		4.2	0.30		-		
1 屋光率	屋光率:3.14	5.0	0.60		-		
2 方位別開口			-		-		
3 屋光利用設備		3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策		3.0	0.30		-		
1 屋光制御		3.0	1.00		-		
3.3 照度		3.0	0.15		-		
3.4 照明制御		3.0	0.25		-		
4 空気質環境		3.0	0.25		-		3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		3.0	1.00		-		
4.2 換気		3.0	0.30		-		
1 換気量		3.0	0.33		-		
2 自然換気性能		3.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33		-		
4.3 運用管理		3.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視		3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御		3.0	0.50		-		
Q2 サービス性能			0.30		-		3.3
1 機能性		3.4	0.40		-		3.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.57		-		
1 広さ・収納性		3.0	0.33		-		
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33		-		
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		-		
1.2 心理性・快適性		4.0	0.43		-		
1 広さ感・景観	事務室天井高2.9m+窓設置	5.0	0.50		-		
2 リフレッシュスペース		3.0	0.50		-		
3 内装計画			-		-		
1.3 維持管理			-		-		
1 維持管理に配慮した設計			-		-		
2 維持管理用機能の確保			-		-		
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30		-		2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-		
2.4 信頼性		2.6	0.20		-		
1 空調・換気設備		3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20		-		
3 電気設備		3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備		2.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.900m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	[壁長さ比率]<0.1	5.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.40	-	-	1.9
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			1.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制			-	-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			3.0	0.13	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.0	5.0	0.63	-	-	5.0
4 効率的運用			3.0	0.25	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.60	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体+軽鉄+仕上材のデティールを採用	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.6
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率52%	4.9	0.33	-	-	4.9
2 地域環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明を行っていない。	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	